

パパのがっこう in ながさき 事業報告

1. 活動の概要

パパの役割を学び、子どもとの関係づくりのきっかけとし、子育てするパパ同士が楽しく交流することを目的に、多種多様な団体と協働して実施しました。

2. 活動期間

平成 30 年 3 月 30 日～平成 31 年 1 月 27 日（約 10 カ月間）

3. 実施主体

育 Men' S 倶楽部ながさき（2010 年設立）

4. 協力（順不同）

NPO 法人ファザーリングジャパン、パパ 'S 絵本プロジェクト、えほん侍、NPO 法人輝～キミも大切な存在～、fit connect community、NPO 法人インフィニティー、九州電力長崎支社、長崎市緑が丘地区子育て支援センターピクニック、自然共育コミュニティ森のわ、長崎シティ FM、長崎市立図書館、障害福祉サービス生活介護事業所すみれ舎、南山認定こども園、ながさき女性活躍推進会議、長崎大学ダイバーシティ推進室、長崎県青少年育成県民会議、NPO 法人心澄、長崎県、長崎市

5. 助成団体

一般財団法人九電みらい財団

6. 活動の主対象者

長崎市内に居住し、未就学児がいるパパママ、これから親になるプレパパ、プレママ

7. 活動の実績（回数・参加者数） 合計 4 回実施、参加者延べ 238 名

- ・パパのがっこう in ながさき 2018. 10. 28（日）13:30～17:00 参加者 99 名
- ・室内で楽しむパパ子遊び 2018. 11. 25（日）10:30～12:00 参加者 39 名
- ・クリスマス☆親子遊び 2018. 12. 8（土）10:30～11:30 参加者 70 名
- ・親子森遊び もりのおうち 2019. 1. 27（日）10:00～14:00 参加者 30 名

8. 活動を通して

① パパを取り巻く状況でわかったこと

- ・子どもの送迎はパパが多いという保育園が数カ所あり、10 年前よりは子育てに取り組むパパが当たり前になってきたことが確認できました。
- ・「イベントに参加したパパの行動が変わった」というママからの報告があり、パパは楽しいという安藤哲也さんのようなロールモデルを見せると変化が見られるようです。

- ・参加したパパから「子どもは非常に人見知りなのに、〇〇さんになついたのは驚いた」という感想がありました。このパパと〇〇さんの信頼関係ができているからであり、親が信頼関係を築くことで、子どもが安心して他の大人を頼れる環境づくりができます。
- ・他のパパママと話す、他人にちょっと子どもの面倒を見ることをお願いする事をしないパパママが多くなっていると感じており、支援者が積極的に介入しないとネットワーキングは難しいと感じました。

② イベント実施上の留意点

- ・お金の収入と支出が発生するたび、エクセルに入力しました。領収書とレシートは費目ごとに A4 版コピー用紙に貼れるだけ貼って漏れないようにしました。
- ・本会以外のボランティア活動者は、個人的な知り合いにより確保しました。面談時に、事業の目的、活動内容、活動時間、交通費の支払いなどの条件を提示して了解を頂いた上で活動に参加していただきました。
- ・他団体に依頼する時は、まず自分たちの団体をきちんと説明することから始めました。そのために団体概要シートを A4 版 2 ページで作成しました。長崎市の提案型協働事業の団体概要シートを参考にしました。
- ・10/28 は集合してすぐに、ボランティア活動者に活動マニュアルを渡して、全員でブリーフィングを行い認識の統一をできるだけ図りました。
- ・10/28 のイベントは 2 会場に分かれたので、それぞれの会場に会場リーダーを 1 名とサブリーダーを 2 名ずつ配置して各会場内のことは責任者と協議する仕組みにしました。全体の統括リーダーと事務局はやる事がほとんどありませんでした。

③ 運営してわかったこと

- ・事業準備中、ウェブサイトの構築・保守、チラシ作り、周知活動、必要備品のレンタルなどで本会会員が自ら協力するなど内部のメンバーシップが高まったと感じます。
- ・長崎シビックホールを利用しているママたちのボランティア団体「ママボラ」と協働し、また、イベントの周知を通じて他団体と知り合う事ができました。今後は、それぞれの団体とお互い対等な立場での協働相手になれる関係づくりをしたいと思います。
- ・本会会員は全員他に仕事をしながらボランティアで活動していることもあり、事前打合せが十分にできませんでした。そのため、計画通りに事業を進めることができずそのリカバリーの時間がかかりました。
- ・7月から周知を始める準備を整えていましたが、災害支援による事務局不在のため、その間の事務が滞り、周知が届かないことがありました。不在時の事務処理を決めておくなどのしくみが必要でした。

9. 事業スケジュール

2017. 11 月	事業実施の有無について団体内部で協議、決定
2017. 12 月	事業計画・収支計画の作成、助成金申請
2018. 3 月	助成金決定

2018.4月	講師、出演者、会場の日程調整と依頼、団体内部で事業プランの説明
2018.5月	実施要項の策定、PR ツールの作成、ホームページリニューアル、長崎市内子育て支援センターへのヒアリングスタート
2018.6月	ポスター・チラシデザインの完成、必要スタッフ数の積算
2018.7月	PR の打ち合わせ、11 月以降の交流会の内容検討、子育て支援センター以外の協働者との連携模索
2018.8月	PR 開始、講師・出演者との打合せ開始、参加申込受付開始、交流会打合せ開始
2018.9月	活動マニュアル、イベントスケジュール作成、佐世保市で講師の「絵本ライブ」視察、広島市でのファザーリング全国フォーラムでの周知及び他地域での取り組みの情報収集
2018.10月	必要備品の調達、参加者の確認、スタッフ打合せ、10/28 事業の実施
2018.11月	10/28 実施報告書の作成・送付、11/25 交流会実施
2018.12月	12/8 交流会実施、実施報告書送付
2019.1月	1/27 交流会実施、精算及び事業実施報告書作成
2019.2月	事業完了の確認、助成団体への報告書送付

10. 活動計算書

収入	助成金	580,000
	自己資金	10,147
合計		590,147
支出	講師謝金（東京3名、福岡1名、大村1名、長崎1名）	210,000
	旅費（東京4名、福岡1名、大村1名、長崎1名、スタッフ）	162,124
	消耗品費（封筒、コピー用紙、インク、名刺用紙等）	18,992
	活動PR費（ポスター・チラシ印刷、ウェブ構築、ラジオ広告等）	92,721
	通信運搬費（ポスター・チラシ送付、講師依頼等送付）	21,979
	保険料（10/28 イベント保険料）	2,240
	使用料（10/28 会場使用料）	22,460
	人件費（10/28 スタッフ交通費、託児保育士等日当旅費）	43,300
	その他（講師昼食代、交流会茶菓等）	16,331
合計		590,147

11. 今後の目標

本会は毎月の定例会でパパ同士の情報交換やイベントを通して交流しています。この場を活用して交流を広げる取り組みを続けていきます。

次年度は、長崎市内、長崎県内の子育て支援センター、NPO 法人、ボランティア団体などと協働し、それぞれの地域でパパ交流会ができるようサポートします。

また転職などで長崎に来て知り合いがおらず、「孤育て」に陥らないよう、パパママへのフォローを行うための仕組みを作っていきたいと考えています。